

生野中学校区 学校適正配置検討会議 安全対策専門部会（第3回） 開催結果

■ 開催日時、場所

令和3年6月8日（火）19時00分～ 生野区役所6階大会議室

■ 議事

通学路とその安全対策について意見交換を行った。

◆主な確認事項等

- ・次の項目について行政側で確認し、次回専門部会にて報告する。
 - 資料上「38」について、横断歩道が設置できない場合、代わりに「一旦停止」の表示ができるかどうかの基準。
 - イメージハンプのデザインがどういった表示になるか。
 - カラー舗装（ニート舗装）を実施する前後の効果について、他府県でなく大阪のデータの有無。
 - 義務教育学校における7～9年生に対する通学路指定の必要性。
- ・次回の専門部会は、確認すべき事項が整理でき次第開催する。

◆主な説明事項等

（議事資料に沿って説明を行った）

◆その他意見等

- ・前回の専門部会でも、時間帯通行規制、信号設置については必須であると意見した。規制等については基準もあると思うが、現時点の通行量等だけで判断するものではないと思う。開校することで児童の通行量が増えることも考慮し、検討すべき。
 - 時間帯通行規制、信号設置に対し必須であるというご意見があったことは警察へ伝えている。当該箇所が重要地点であることも踏まえ、引き続き調整する。
- ・時間帯通行規制について、区役所が通行量調査していることはよいが、周辺の企業や利用車両の調査を含め、周辺地域への了承が必要であれば、その了承を取り、警察に相談してはどうか。できることから進めるべきである。
 - 警察による時間帯通行規制に向けたモデルスケジュールでは、周辺地域の了承をとる期間はまだ先であったが、ご意見あったように、先行して周辺地域の了承をとる方法も検討する。
- ・資料上「38」は、結局何も対策がされないということか。
 - 工営所へ、カラー舗装（ニート舗装）ができないか相談をしている。
- ・カラー舗装（ニート舗装）やグリーンラインの実施前後のデータについて、他府県のデータは知らない。また、データ内容も良い部分しか載せていないのでは。場所による成果の

有無などがわかる資料がほしい。

→国交省へ問い合わせしてみる。

- ・開校後、通行規制等がされたとしても、車両は迂回、抜け道などを探すと思うので、新たな危険箇所が出てくると思う。その点についても注意していきたい。

→交通安全プログラムという仕組みがあり、区役所が事務局となり、建設局、警察、学校で地域の交通安全を考える。安全点検を行いながら、意見聴取することも可能。

- ・電柱への表示について、消えかかっているものや奥まっている箇所などがあるため、新しく設置も検討してほしい。

→現時点で見本はないが、予算は確保しており、今後、具体的なイメージを示しながら順次進めていく。

- ・新しい通学路近辺の地域住民の協力が必要なため、SNS を活用するなど、地域へ周知すべき。

→保護者に安心してもらえるよう、実施した安全対策の内容などの情報発信に努める。また、開校までに新しい通学路を周辺地域へ周知するため、回覧をお願いしたいと考えている。

- ・自転車の飛び出しなどが危険。私道が多いため自転車に対し「止まれ」の表示などは難しいと思うが、自転車側への注意喚起など、できる対策があれば検討してほしい。

→自転車マナーについては、警察と共に啓発を行っている。重要視しており、啓発だけではなくハード面で可能な対策は検討したい。

- ・グリーンライン、カラー舗装（ニート舗装）などの塗装による安全対策を進めれば、地域にも視覚的に通学路であることを認識してもらえるため、そちらを重点的に進めてみてはどうか。

→塗装関係は今年度順次実施予定であり、日程がわかれば報告する。

- ・中学校長はなぜこの専門部会に参加していないのか。中学生の一部が自転車通学をしていることも聞いており、これから大勢の小学生が同じ道を通ることになる。中学校長の出席も必要ではないか。

→各専門部会にそれぞれ担当校長を決め、出席してもらっている。いただいた意見は中学校長にも報告している。中学校長から意見を伺いそれをお伝えする、もしくは別の場を設けるようなことも可能かと考えている。なお、この専門部会では1～6年生の通学路の安全対策について意見を聞く場としている。

- ・義務教育学校として、1つの学校ではないのか。7～9年生だけ通学路が指定されていないことも仕組みとしておかしいのでは。

→中学生相当の7～9年生に通学路を指定するかどうか、教育委員会事務局に確認する。

- ・今後のPTA組織をどうしていくか、現PTA会長が集まって検討する場を予定している。5校で話し合いすべき内容をそこに盛り込むことも可能。